

「地域の公共交通は今 ～地域公共交通の現状と展望～」

日時：9月28日(火) 16:50-18:35 (5限)

**国際学術総合研究棟4階SMBCホール(20名まで)に
おける対面授業とオンラインでの受講の併用**

公共政策大学院では、「地域交通政策研究」の授業において、下記のとおり、国土交通省 公共交通・物流政策審議官 寺田吉道 氏からお話を伺います。

マイカーの普及や少子高齢化の進展により、我が国の多くの地方部でバス・鉄道等の公共交通機関の利用者数が減少を続けています。また、労働力人口の減少は公共交通を支える働き手の確保も困難にしつつあります。さらに、こうした構造的な問題に加えて令和2年初めからは新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が公共交通を維持・活性化させる観点から国や自治体、交通事業者等において様々な取り組みが実施され、法制度等も整備が進められてきました。また、IT技術の目覚ましい進歩により、利便性の高いサービスが実現し、自動運転なども決して未来の空想事ではなくなりつつあります。

本講義では、我が国の地域公共交通の現状と課題を概観し、技術革新等も踏まえつつ、今後求められる政策の方向性について考察します。

履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎します。(使用言語: 日本語、本学学生以外の一般の方は参加・アクセス出来ません。)

- ※ 対面授業を希望する学生は、下記アドレスまで、授業前日17時までに連絡すること。先着順に受け付けし、教室の定員を超えた場合にのみ個別に連絡する。
- ※ オンライン授業URLはITC-LMSで確認すること。また、資料はITC-LMSにおいて本科目を仮登録の上、ITC-LMSから入手すること。授業開始の1時間前までを目途に掲示する。

一問い合わせ： 交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp



**国土交通省
公共交通・物流政策審議官**

寺田吉道 氏